

六地藏さま建立発願

「弥勒仏が現われるまでの五十六億七千万年間の衆生を守る」とされる地藏菩薩は身近な仏さまであり、やさしいお顔で私たちをご守護くだされます。お子さんの守り本尊でもあります。

このたび本堂前に六体の地藏菩薩建立を発願いたしました。檀信徒皆様お一人おひとりそれぞれのご祈願成就のために建立いたします。

ご案内の内容は別紙文書のとおりであります。何卒浄財のご芳志をお願い申し上げます。なお、志納された方には特製、「六地藏お守り腕輪念珠・香木白檀製」を記念として差し上げます。

このたびの建立発願はあくまで任意でのご芳志ですので、お地藏さまにご祈願なされる方はお願い申し上げます。



地藏堂（建物）の壁面に「ご芳名をお書きします。ご祈願浄財志納はご家族何名でもかまいません。全員氏名を明記し、人数分のお守り念珠を差し上げます。お申し込書の氏名は楷書で正確にお書きください。多数の場合は適宜用紙に氏名をご記入ください。浄財は「振替」でお振り込みいただいてもよろしいです。

仏事の知識 水道の蛇口

なんで水道の水の出るところを「蛇口」というのだろう。四月八日はお釈迦さまのお誕生日。花御堂の誕生仏に甘茶をかけてお祝いをいたします。甘茶はお釈迦さまへの産湯の意味があるらしい。天人の使いである二匹の大蛇が下りてきて、口から甘茶を出して産湯を使わせたという。それから水道水の出口を「蛇口」と言うようになった。



神社やお寺には手水場が設置してあるのをよく見かける。この水の出口は龍の形が多い。参拝者は本殿を拝む前に手水鉢から水を汲み、手を洗い口をすすいで身と心を清浄にしてからお参りを済ませます。龍も蛇も天人の使い、そこから出る水は天の恵み、浄らかな水、大切に使用したい。水の無駄を無くせば水道代、下水道代も助かる。水資源を大切に、蛇口を拜んでから水を出しましょう。